

その他

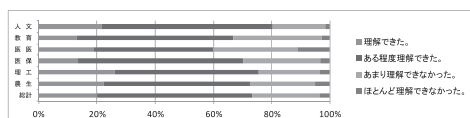
平成25年度前期 21世紀教育に関する学生アンケート

○1年生

設問2：入学時のガイダンスの説明で、21世紀教育の履修の仕方が理解できたか？

(回答数1,100)

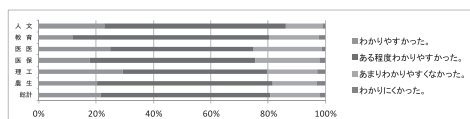
- ・理解できた (20.1%)
- ・ある程度理解できた (53.2%)
- ・あまり理解できなかった (23.0%)
- ・ほとんど理解できなかった (3.7%)



「理解できた」「ある程度理解できた」を合わせた割合は、回答者の7割を超えており、昨年度（72%）とはほぼ同等となりました。学部間での理解度の差が大きく、人文学部・理工学部で理解度が高く、教育学部と医学部医学科が低くなっています。

設問3：「履修マニュアル」の解説はわかりやすかったか？(回答数1,095)

- ・わかりやすかった (21.7%)
- ・ある程度わかりやすかった (59.2%)
- ・あまりわかりやすくなかった (17.0%)
- ・わかりにくかった (2.1%)

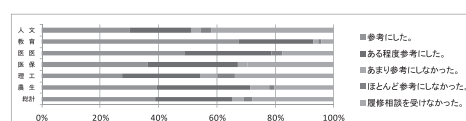


昨年度同様、「わかりやすかった」「ある程度わかりやすかった」を合わせた割合は全体の80%を占めています。一方、医学部医学科、医学部保健学科では、「あまりわかりやすくなかった」とする回答が20%を超えており、ガイダンス等での補足が必要かと思われます。

設問4：履修相談で受けた指導を履修にあたって参考にしたか？(回答数1,103)

- ・参考にした (38.7%)

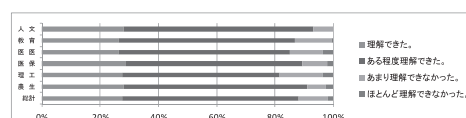
- ・ある程度参考にした (26.6%)
- ・あまり参考にしなかった (3.8%)
- ・ほとんど参考にしなかった (3.2%)
- ・履修相談を受けなかった (27.7%)



前年度（79%）を下回ったものの、回答者の約72%が履修相談を受けており、そのうち9割の学生が相談時に受けた指導を参考にしています。履修相談の利用率は学部によってかなり差があり、教育学部がもっとも高く、人文学部がもっとも低くなっています。履修相談の日程や時間帯の影響も考えられますが、履修相談をより受けやすい対策が必要かと思われます。

設問5：入学時のガイダンスや履修相談等を通じて21世紀教育の目標が理解できたか？(回答数1,102)

- ・理解できた (27.7%)
- ・ある程度理解できた (60.5%)
- ・あまり理解できなかった (10.0%)
- ・ほとんど理解できなかった (1.8%)

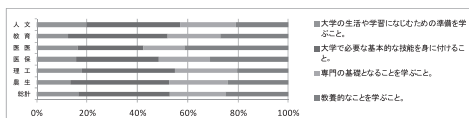


「理解できた」「ある程度理解できた」を合わせると約88%の学生がガイダンスや履修相談を通じて21世紀教育の目標をある程度理解できています。「理解できなかった」とする回答は年々減少しており、目標の理解度がより高まっていることがわかります。

設問6：21世紀教育に対して一番強く期待することは何か？(回答数1,101)

- ・大学の生活や学習になじむための準備を学ぶこと (16.5%)
- ・大学に必要な基本的な技能を身に付けること (36.4%)

- ・専門の基礎となることを学ぶこと（22.2%）
- ・教養的なことを学ぶこと（25.1%）

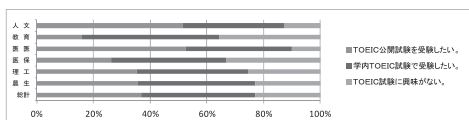


選択肢はそれぞれ「導入科目」「技能系科目」「基礎教育科目」「テーマ科目」の目標にそれぞれ対応しております。期待する内容は各学部で異なりますが、全体的に昨年度より「大学で必要な基本的な技能を身に付けること」を期待する学生が多くなっています。

＜英語コミュニケーション実習について＞

設問7：TOEIC試験について興味あるか？ (回答数1,102)

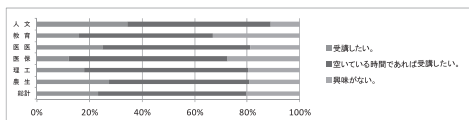
- ・TOEIC公開試験を受験したい（36.9%）
- ・学内TOEIC試験で受験したい（40.1%）
- ・TOEIC試験に興味がない（23.0%）



全体で約76%の学生が、TOEIC試験の受験を希望しており、一昨年度が70%、昨年度が72%と、年々TOEIC試験への関心が高まっています。特に人文学部・医学部医学科で試験への関心が高くなり、約90%の学生が受験を考えています。一方、教育学部・医学部保健学科では、60%台と消極的な傾向が見られます。

設問8：TOEIC向けの授業を受講したいか？ (回答数1,104)

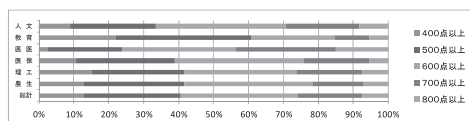
- ・受講したい（23.3%）
- ・空いている時間であれば受講したい（56.4%）
- ・興味がない（20.3%）



約80%の学生がTOEIC向けの授業を受講したいと回答しており、授業の開講を望む声が高いのがわかります。時間制上の工夫があれば、多くの学生が受講することが期待されます。特に人文学部の学生の希望が高く、教育学部がもっとも低くなっています。

設問9：TOEICを受験する場合は、何点ぐらいに目標を設定したいですか？（回答数1,100）

- ・400点以上（12.6%）
- ・500点以上（28.0%）
- ・600点以上（33.5%）
- ・700点以上（18.3%）
- ・800点以上（7.5%）



全体的に600点以上を第一目標にしている学生が多く、なかでも医学部医学科は700点以上を目標にしている学生が多く見られます。前年度と同様に400点以上を目標にしている割合が減少しており、より高い点数を志向していることがわかります。

設問10：履修を希望したが、時間割の関係で受講できなかった科目があれば記入しなさい (回答数277)

人文学部と理工学部で多く、医学部医学科は非常に少ないようです。受講できなかった科目の上位は、「心理学の基礎」（82名）、「哲学の基礎」（29名）、「生物学の基礎」（25名）となっています。

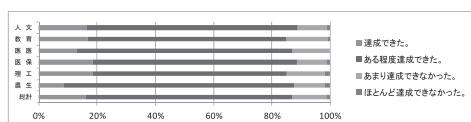
	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	計
人数	93	41	6	33	69	35	277
科目数	26	22	3	17	20	21	109

○2年生

21世紀教育の「基礎教育科目」「テーマ科目」「技能系科目」について、その程度を問いました。学部学科により回答数にばらつきが見られ、一概には比較できませんが、以下のような結果になりました。

設問2：21世紀教育の「基礎教育科目」の達成目標は「学問のすそ野を広げ、学ぶための教養を培う」ことだった。あなたの学習の結果からみて達成感はどうだったか？（回答数728）

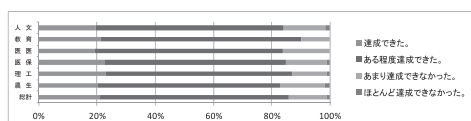
- ・達成できた（15.9%）
- ・ある程度達成できた（71.0%）
- ・あまり達成できなかった（11.8%）
- ・ほとんど達成できなかった（1.2%）



「達成・ある程度達成」できたと回答した学生は全体の約87%と、昨年度よりも高い割合となり、目標を概ね達成していることがわかります。また昨年度よりもさらに学部学科間の相違が縮小しており、どの学部学科についても達成の割合が高くなっています。

設問3：21世紀教育の「テーマ科目」の達成目標は「幅広く深い教養と総合的な判断力を養う」ことだった。これに対して、あなたの学習の結果からみて達成感はどうだったか？
(回答数728)

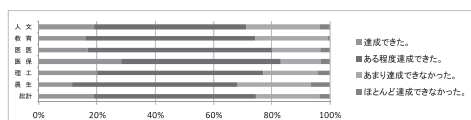
- ・達成できた (21.2%)
- ・ある程度達成できた (64.6%)
- ・あまり達成できなかった (13.2%)
- ・ほとんど達成できなかった (1.1%)



「達成・ある程度達成」できたと回答した学生は約85%と基礎教育科目とはほぼ同様で、概ね達成感を得ていることがわかります。昨年度は理工学部の学生の達成感の割合が低かったものの、今年度に関しては大幅に上昇し、履修内容と興味関心が一致した学生が多かったことがわかります。

設問4：21世紀教育の「技能系科目」の達成目標は「国際化や自己管理、自己表現に対する能力の育成」だった。あなたの学習の結果からみて達成感はどうだったか？
(回答数724)

- ・達成できた (18.8%)
- ・ある程度達成できた (55.8%)
- ・あまり達成できなかった (21.8%)
- ・ほとんど達成できなかった (3.6%)



技能系科目の達成感については、どの学部において

も「基礎教育科目」「テーマ科目」と比べ、達成感の割合が下がっています。特に農学生命科学部では4人に1人が「あまり達成できなかった」と回答するなど、学部間においても差が見られました。

設問5：履修を希望したが、時間割の関係で受講できなかった科目があれば記入しなさい
(回答数108)

人文学部、教育学部、農学生命科学部に多く、医学科と保健学科で少ないことから、学部によって大きな差があります。受講できなかった科目の上位は「最新医学の現状」(11名)「生物学の基礎」(6名)「社会と私」(6名)「物理学の基礎」(5名)「思想・文学の世界」(5名)です。

	人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	計
人数	35	21	3	4	20	25	108
科目数	32	21	4	5	13	14	89

設問6：21世紀教育科目の成績評価について感じたことがあれば、自由に記入しなさい。
(回答数61)

「成績評価の基準が不明」「成績評価の方法が科目や教員によって差がある」「出席を評価してほしい」という意見が見られました。科目で見ると、特に「英語」に関する成績評価の差についての意見が多い結果となりました。

設問7：21世紀教育の全体を通して、特に感じたこと、考えたこと、提案したいことがあれば自由に記入しなさい。
(回答数79)

多岐にわたる意見が寄せられましたが、特に「時間割に関すること」「講義内容に関すること」「履修制限に関すること」への意見が多く見られました。「時間割に関すること」では、「テーマ科目の時間割が重なりすぎている」「曜日によって偏りが大きい」「専門と重なって受けた講義が受講できない」といった不満が多く見られました。また「講義内容に関すること」では、「もっと幅広い、興味深い内容を」「難易度に差がある」という意見が多いものの、一方で「自分の専門とは異なる分野を学べて良かった」と前向きな意見も見られました。